

# 独自の市場を開拓

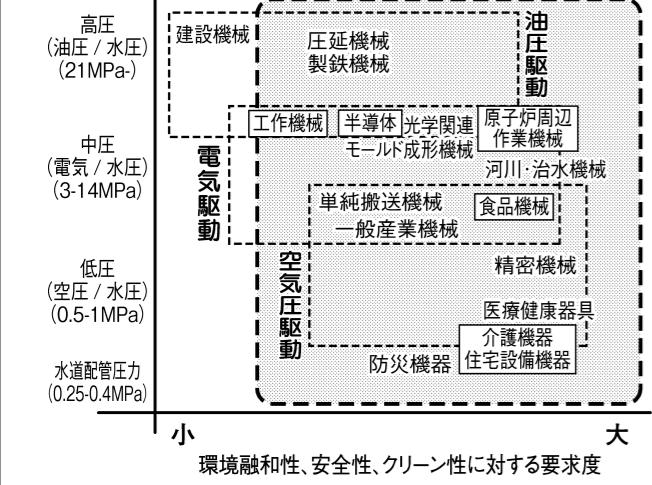
## 水圧機器システムの動向

芝浦工業大学 システム理工学部 機械制御  
システム学科 環境システム制御研究室 教授

伊藤 和寿

今後大きく期待される応  
用技術の最新の状況と  
その背景にある。

### 水圧システムの適用可能範囲



## 「衛生・安全・省エネ」が売り

用分野について述べる。

本解説では水圧システムが非常に難しいことや、その後は油圧システムよりもコストが小さくなるという結果であ

### 緒言

実際には①節水意識、②漏れがない油圧システムやオイルミストの発生しない空気圧システムの開発が非常に難しいこと

水道水を用いる水圧システムは当初油圧システムに対する補完システムとしての評価しか得ていなかつたが、広い適用圧力範囲および高い清浄度をメリットに、近年では食品加工、医療、半導体分野などにその応用実績を増やしており、独自の市場を開拓している。価値判断の大きな変化の影には必ずインベーションがある。

現在の水圧システムは、図1

水道水を作動流体とする

現状の水圧シ

ステムの概要

水道水を作動流体とする

現在の水圧シ

ステムの概要